

新興国ハイイールド債券ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新興国ハイイールド債券ファンド Bコース（為替ヘッジなし）」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。

当ファンドは、米ドル建ての新興国の高利回り事業債（以下「ハイイールド社債」といいます。）を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年3月20日～2019年9月19日

第77期	決算日：2019年4月19日
第78期	決算日：2019年5月20日
第79期	決算日：2019年6月19日
第80期	決算日：2019年7月19日
第81期	決算日：2019年8月19日
第82期	償還日：2019年9月19日

償還日 (2019年9月19日)	償還価額	7,553円43銭
	純資産総額	299百万円
第77期～ 第82期	騰落率	△0.0%
	分配金合計	150円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

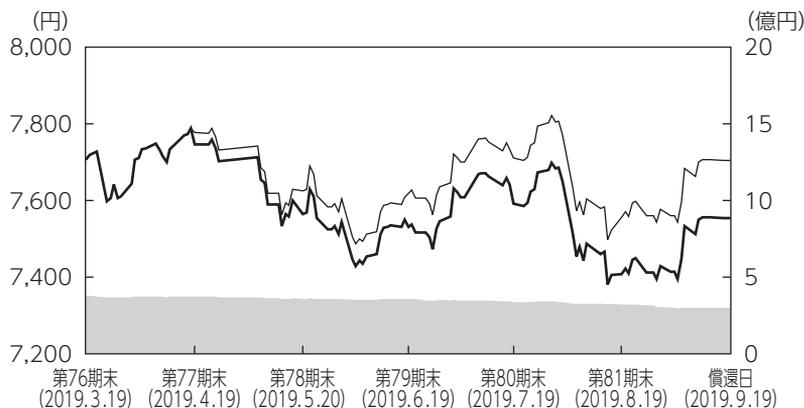
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第77期首： 7,707円
 償還日： 7,553円43銭
 (既払分配金150円)
 騰落率： △0.0%
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

主に円建ての外国籍投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (米ドルクラス)」受益証券への投資を通じて、米ドル建ての新興国のハイイールド社債に投資を行いました。その結果、新興国ハイイールド社債市場が上昇した一方、米ドルが対円で下落したことなどから、基準価額 (分配金再投資ベース) はおおむね横ばいとなりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第77期～第82期		項目の概要
	(2019年3月20日～2019年9月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	49円	0.641%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,585円です。
(投信会社)	(21)	(0.271)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(27)	(0.353)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	－	－	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(－)	(－)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(－)	(－)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(－)	(－)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	49	0.641	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

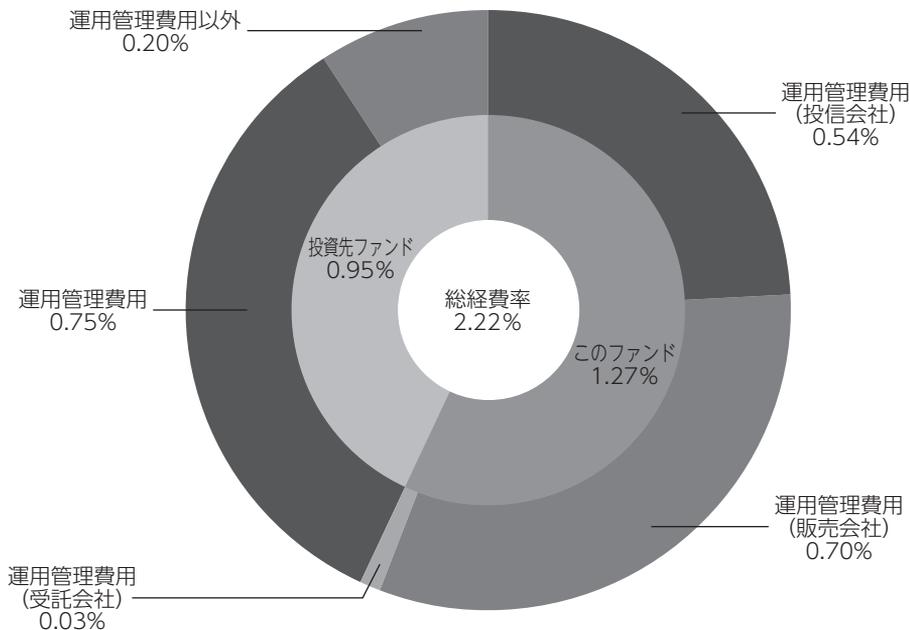
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.22%です。



総経費率 (①+②+③)	2.22%
①このファンドの費用の比率	1.27%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

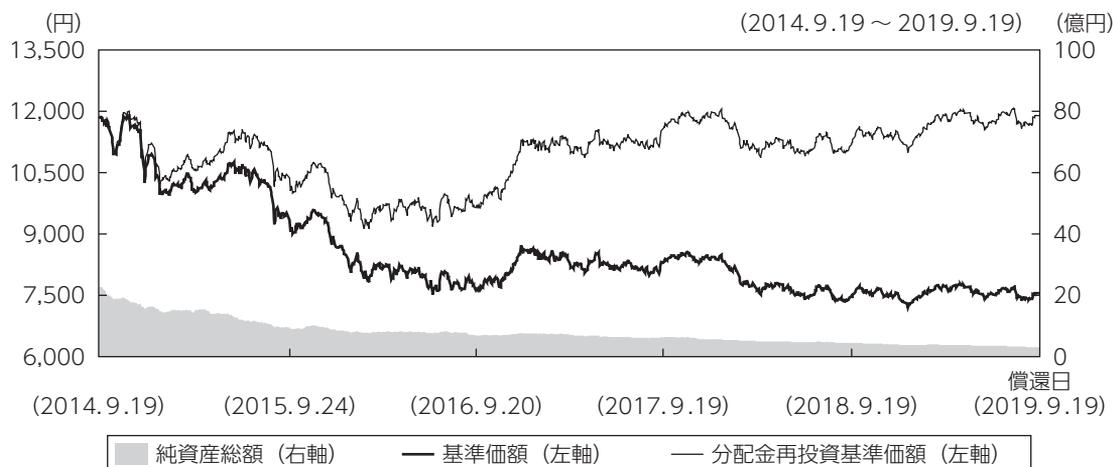
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資ファンドは、源泉税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年9月19日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2014年9月19日 期首	2015年9月24日 決算日	2016年9月20日 決算日	2017年9月19日 決算日	2018年9月19日 決算日	2019年9月19日 償還日
基準価額 (分配落)	(円)	11,822	9,350	7,627	8,303	7,458	7,553.43
期間分配金合計 (税引前)	(円)	-	1,080	1,080	800	600	350
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	-	△12.2	△7.0	20.0	△3.0	6.1
参考指数の騰落率	(%)	-	6.5	△1.3	21.1	△1.9	8.8
純資産総額	(百万円)	2,270	934	693	623	434	299

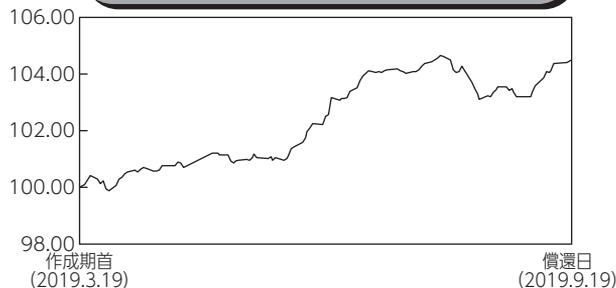
(注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJPモルガンC EMB I ブロード・ハイイールド指数 (円ベース) です。参考指数については後掲の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

(注2) 参考指数は、前営業日の同米ドルベースをもとに委託会社が独自に円換算しています。

投資環境

● 海外債券市況と為替市場

J PモルガンCEMBIブロード・ハイイールド指数 (米ドルベース) の推移

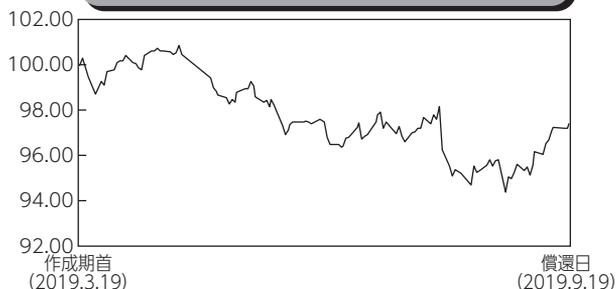


(注) 値は前営業日のものを採用し、作成期首の値を100として指数化しています。

新興国ハイイールド社債市場は上昇しました。作成期前半は、米連邦準備制度理事会 (F R B) による早期の利下げ観測が強まったことや、米中の貿易交渉が合意に近づいているとの期待が高まったことなどをを受け投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、上昇しました。作成期後半は、米中貿易摩擦が激化するとの懸念や世界経済の減速懸念などから軟調に推移する場面もありましたが、9月以降は米中の貿易協議が進展するとの期待が高まり投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、再び上昇に転じました。

米国国債との利回り格差 (スプレッド) は、作成期を通じてみると拡大しました。

【米ドル】対円為替レートの推移



(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

米ドルは対円で下落しました。米中貿易摩擦の激化懸念による投資家のリスク回避の動きなどから、円高米ドル安が進行したほか、F R Bの利下げ観測などから、下落しました。

※MHAM短期金融資産マザーファンドの投資環境については、運用報告書 (全体版) をご覧ください。

■ ポートフォリオについて

● 当ファンド

円建ての外国籍投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（米ドルクラス）」受益証券を高位に組み入れました。その後は、償還に向けて保有する外国籍投資信託を売却しました。

● エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（米ドルクラス）

主に、米ドル建ての新興国ハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指しました。

国別では、中南米の組入を高めとするポートフォリオを維持しました。

業種別では、石油・ガス、情報通信などの組入を高めとするポートフォリオを維持しました。

格付別配分は、BB格とB格を中心としたポートフォリオを維持しました。

債券の組入比率は高位を維持しました。

保有する米ドル建て資産に対して対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上記の通り運用を行った結果、作成期首から保有する外国籍投資信託を全売却するまでに、基準価額は分配金再投資ベースで0.3%上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

(主な上昇要因)

- ・ 保有する債券価格の上昇
- ・ 債券の利息収入

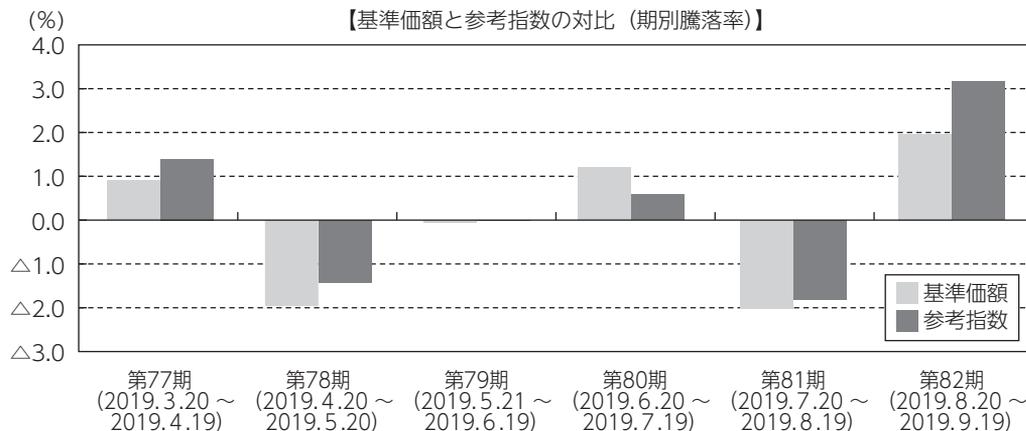
(主な下落要因)

- ・ 米ドルが対円で下落したこと

※MHAM短期金融資産マザーファンドのポートフォリオの状況については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2019年3月20日 ~2019年4月19日	2019年4月20日 ~2019年5月20日	2019年5月21日 ~2019年6月19日	2019年6月20日 ~2019年7月19日	2019年7月20日 ~2019年8月19日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.386%	0.395%	0.397%	0.394%	0.403%
当期の収益	30円	30円	30円	30円	28円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	1円
翌期繰越分配対象額	474円	476円	479円	487円	485円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

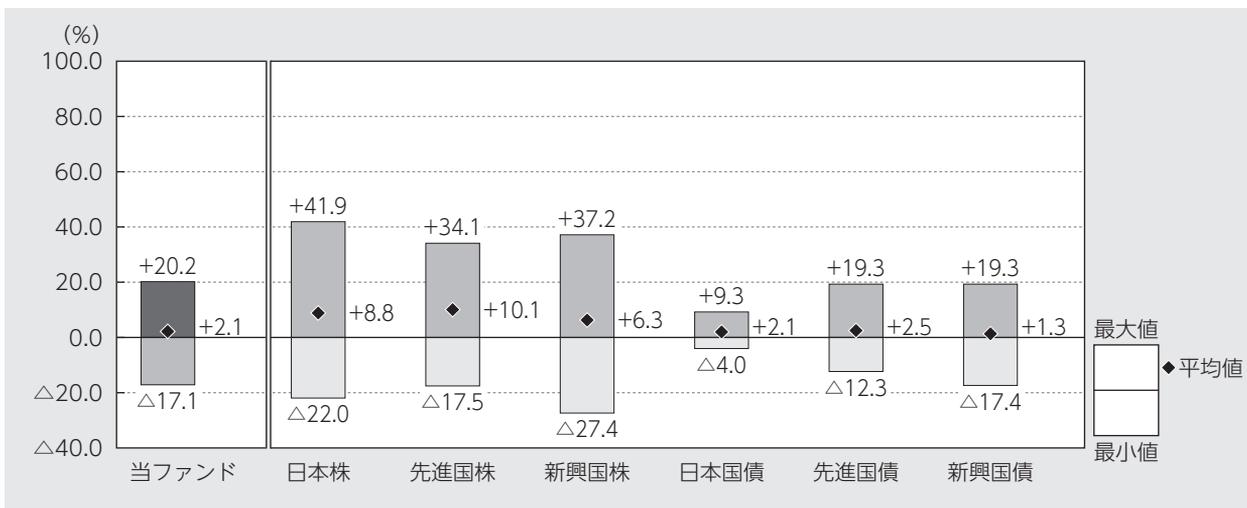
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年11月30日から2019年9月19日までです。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	米ドル建ての新興国のハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	新興国ハイイールド債券 ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	円建ての外国投資信託である「エマージング・ハイ・イールド・ ボンド・ファンド (米ドルクラス)」受益証券および円建ての国内 籍の投資信託である「MHAM短期金融資産マザーファンド」受 益証券を主要投資対象とします。
	エマージング・ハイ・ イールド・ボンド・ファンド (米ドルクラス)	主に米ドル建ての新興国のハイイールド社債を投資対象とします。 なお、米ドル建ての新興国ソブリン債 (投資適格ソブリン債、ハイ イールドソブリン債) および新興国投資適格社債に投資を行う 場合があります。
	MHAM短期金融資産 マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	円建ての外国投資信託への投資を中心にを行い、投資対象ファンドの合計組入比率は、 高位を維持することを基本とします。 円建ての外国投資信託では、米ドル建て資産について、原則として、為替ヘッジを行 いません。 外国投資信託受益証券への運用指図に関する権限を、レグ・メイソン・アセット・ マネジメント株式会社に委託します。	
分配方針	第4期以降の毎期 (原則として毎月19日)、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益お よび売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、配 当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年9月～2019年8月

(注1) 上記のグラフは2014年9月から2019年8月の5年間における1年騰落率(毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年(60ヵ月)分取得したデータ)の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。(グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。)なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

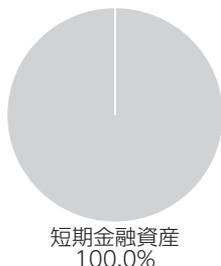
※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

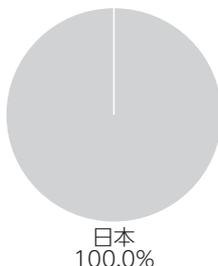
当ファンドの組入資産の内容（2019年9月19日現在）

◆組入ファンド等
該当事項はありません。

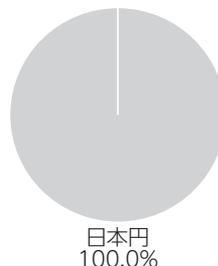
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

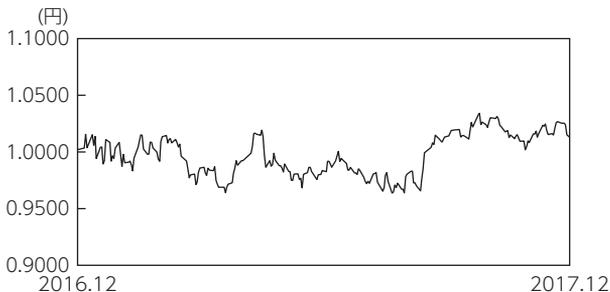
項目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	償還時
	2019年4月19日	2019年5月20日	2019年6月19日	2019年7月19日	2019年8月19日	2019年9月19日
純資産総額	370,556,957円	358,387,933円	354,489,699円	336,888,716円	318,832,678円	299,287,836円
受益権総口数	478,326,317口	473,763,925口	470,799,012口	443,803,040口	430,378,491口	396,227,534口
1万口当たり基準（償還）価額	7,747円	7,565円	7,530円	7,591円	7,408円	7,553円43銭

(注) 当作成期間（第77期～償還時）における追加設定元本額は8,590,404円、同解約元本額は103,476,705円です。

組入ファンドの概要

[エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (米ドルクラス)] (計算期間 2017年1月1日～2017年12月31日)

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

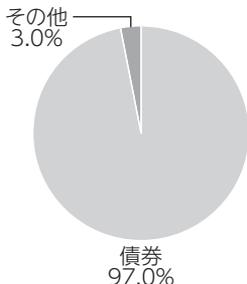
当該情報が取得できないため記載しておりません。

◆組入上位銘柄

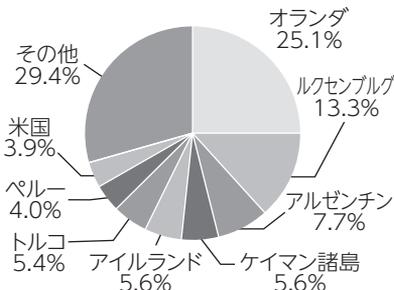
(組入銘柄数：53銘柄)

順位	銘柄	比率 %
1	PETROBRAS GBL FIN. 6.85% 06/05/20115	8.1
2	PETROBRAS GLOB 5.299% 01/27/25 REGS	6.1
3	SBERBANK FXtoVA 02/26/24	4.9
4	BRASKEM AMERICA 7.125% 07/22/41 REGS	3.8
5	ROSNEFT OIL CO 4.20% 03/06/22	3.4
6	ITAU UNIBANCO/K 5.650% 03/19/22	3.0
7	BAHIA SUL HLDGS 5.750% 07/14/26 REGS	2.5
8	REP OF NIGERIA 7.875% 02/16/32 REGS	2.2
9	VALE OVERSEAS 6.250% 08/10/26	2.1
10	ULTRAPAR INTL 5.250% 10/06/26 REGS	2.1

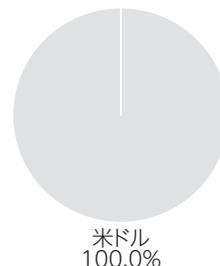
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 上記は、委託会社が入手した直近の計算期間末のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分、国・地域別配分および通貨別配分は、当ファンドの実質的な投資先である「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の内容になります。

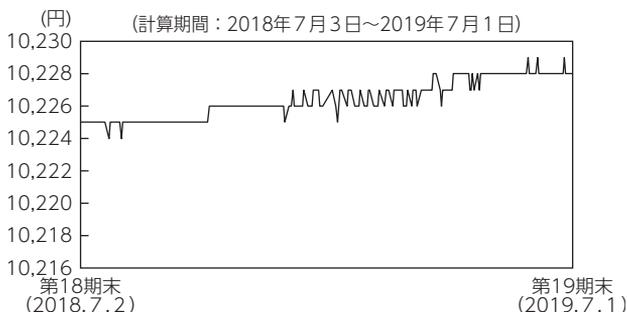
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国・地域別配分および通貨別配分については投資有価証券評価額合計に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 当ファンドが保有する全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

[MHAM短期金融資産マザーファンド] (計算期間 2018年7月3日～2019年7月1日)

◆基準価額の推移



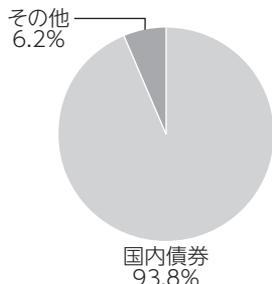
◆1万口当たりの費用明細
該当事項はありません。

◆組入上位銘柄

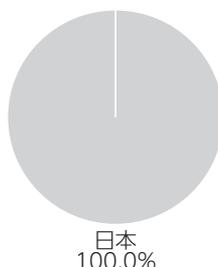
(組入銘柄数：15銘柄)

順位	銘柄	種別	利率	償還日	比率
1	平成21年度第6回 千葉県公募公債	地方債	1.41%	2019/09/25	11.0%
2	平成21年度第2回 北九州市公募公債	地方債	1.36%	2019/12/24	8.7%
3	平成21年度第10回 愛知県公募公債 (10年)	地方債	1.38%	2019/10/30	7.8%
4	平成21年度第1回 福井県公募公債	地方債	1.34%	2019/12/25	7.7%
5	第42回 川崎市公募公債 (5年)	地方債	0.101%	2019/12/20	7.4%
6	平成21年度第1回 徳島県公募公債	地方債	1.55%	2019/11/29	7.0%
7	平成21年度第5回 京都市公募公債	地方債	1.45%	2020/02/25	6.9%
8	平成26年度第3回 京都市公募公債	地方債	0.184%	2019/09/26	5.8%
9	第41回 川崎市公募公債 (5年)	地方債	0.163%	2019/09/20	5.7%
10	い第777号 農林債	金融債	0.25%	2020/02/27	5.5%

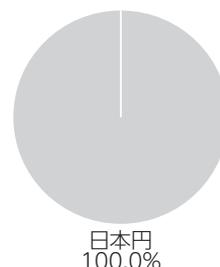
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計 (除く現金) に対する割合です。

(注3) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注4) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

● J Pモルガン C E M B I ブロード・ハイイールド指数 (円ベース)

「J Pモルガン C E M B I ブロード・ハイイールド指数」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (T O P I X)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「N O M U R A - B P I 国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「F T S E 世界国債インデックス (除く日本)」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は F T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指数に関するすべての権利は F T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。
- 「J Pモルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

